



2025年12月10日

●発行所●

一般社団法人
北海道中小企業家同友会
同友会大学同窓会

札幌市東区北6条東4丁目1-7 デ・アウネさっぽろビル13階
TEL(011)702-3411 FAX(011)702-9573
<http://www.hokkaido.doyu.jp>

第73期卒業式報告 ～共に学んだ仲間との絆を糧に～



2025年9月29日、第73期同友会大学の卒業式が、同友会大久保記念・共育ホールにて執り行われました。

当日は、講師・役員の皆様をはじめ、多くの経営者の方々にご臨席いただき、温かな雰囲気の中で節目の日を迎えることができました。惜越ながら、私の視点からご報告申し上げます。

1月の入学式から9月の卒業までの約9カ月間、第73期は「経営の本質」や「人を生かす組織づくり」について学びを深めてきました。グループディスカッションでは、異業種の仲間と語り合うことで多様な考え方や価値観に触れ、視野と知見を大きく広げることができました。この仲間との出会いこそが、同友会大学で得た最も大きな財産であると感じています。

卒業式では、藤井幸一代表理事のご挨拶、福山恵太郎学長の「学びを礎に実践の中で力を発揮してほしい」との力強いお言葉を胸に刻みました。努力賞には

(株)シンクシステムズ
小椋俊秀会長、敢闘賞には5名の仲間が選ばれました。



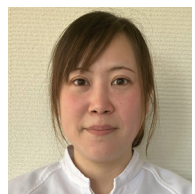
答辞で小椋会長が語られた「従業員の働きを付加価値に変え、利益を残す努力をしていきたい」という言葉に一同が深い感銘を受けました。

30名で始まった第73期のうち、28名が無事に卒業を迎えました。共に学び励まし合った仲間との絆は、私たち73期の誇りです。ここで得た学びとつながりを糧に、これからも地域と社会に貢献できる企業づくり・人づくりを目指してまいります。

共に学んだすべての方々に、心より感謝申し上げます。

(73期卒・和光技研(株) 吉田 哲也)

卒業生の声 ◆「視野を広げ、共に学び合う」



同友会大学での約7カ月間を振り返ると、多くの学びと気づきに満ちた貴重な時間であったと感じます。

講義では、経済や科学、法律、教育、地域社会の在り方など多岐にわたるテーマを学び、自身の知識や視野を大きく広げることができました。特に印象的であったのは、異業種の方や異なる立場の方々と共にディスカッションを行う中で、多様な価値観や考え方に触れたことです。日頃の業務だけでは得られない視点を取り入れることで、自分の考え方の偏りに気づき、より柔軟に物事を捉える力が養われたと実感しております。グループディスカッションでは、他者の意見を尊重しながら自分の意見を整理し、議論を進める難しさも感じつつ、立場や経験の異なる方々との意見交換を通じて、相互理解や共に学んでいくことの大切さを学びました。

この7カ月間で得た学びや出会いは、今後の人生や仕事において大きな財産になると感じました。この度は、貴重な経験をさせていただいた同友会大学事務局の皆様、講師の方々、第73期の皆様、そして背中を押して送り出して頂いた会社の皆様に心から感謝しております。ありがとうございました。

(73期卒・サンマルコ食品(株) 似内 菜月)

卒業生の声 ◆「考え続ける力」



同友会大学での一年は、「知ること」よりも「考え続けること」の意味を学ぶ時間だったように思います。

講義で扱われた経済や法律、科学の知見は、単なる情報の受け取りではなく、自らの現場や人生に照らし問い直すための素材でした。多様な講師の言葉や、グループ内で交わされた意見を通じて、価値観の違いを学び合いながら理解を深めていく過程に、まさに同友会が掲げる「共育」の姿を感じました。

いま社会は大きな転換点にあります。女性リーダーの登場や価値観の多様化、世代交代、技術革新、そして人口減少。企業も個人も、もはや過去の延長線上では生きられない時代にあります。それゆえに私たちは、知識よりも「構造を読み取る力」と「他者と補完し合う関係性」が求められているのだと思います。

同友会大学での学びは、こうした変化を受け止め、自らの軸を磨くための貴重な訓練だったと感じます。

学びとは、修了とともに終わるものではなく、日々の選択と行動によって更新され続けるものです。私たち73期生が、それぞれの現場で培った経験を互いに持ち寄り、支え合いながら次の世代へつなげていくことを願っています。

ともに学び、悩み、語り合った仲間のこれからの挑戦に、心からの敬意とエールを送ります。

(73期卒・共通Fロジ(株) 八尋 創造)

第73期卒業生報告 & 歓迎研修会を開催

5名が一押しレポート・卒論を報告



第73期卒業生報告 & 歓迎研修会が、11月25日の18時より20時までZOOM併用で開催されました。当日は、前田会長のご挨拶から始まり

挨拶で締めくくられました。この会では素晴らしい出来事がありました。柳沼の阿部さんに女の子が生まれたことです。阿部さんおめでとうございます。同友会大学で学んだことを、自社の中で、そして仕事で、きつと皆様は活かされていくことと思います。私もそうありたいです。私は今東京で、コンサルタント、そして行政書士事務所を運営しています。地の利を生かし、「北海道と本州の架け橋」「北海道と海外の架け橋」になります。何かありましたら私をお使いください。

（73期卒・ライフパートナー 行政書士事務所 小和田 康文）

上げてきました。引き続き73期生各グループからのレポート・卒論報告がありました。Aグループの(株)平塚建具製作所の吉田千織さん、Bグループのサンマルコ食品(株)の内田雅樹さん、CグループのFRSコーポレーション(株)の鈴木玲央さん、Dグループの(株)柳沼の阿部俊幸さん、Eグループのサンマルコ食品(株)の吉田佑さん、どの発表も素晴らしいと感じました。勉強になる内容でした。



そのあとのグループディスカッションで、私はグループの司会を仰せつかりましたので、進行をさせて頂きました。グループ代表による発表は同友会大学先輩の小林豊さん(77期卒)でした。とても心に残る発表だったと思います。本会の最後は楽間副会長の閉会のご

60期同期会報告



6回目となる同期会を11月21日開催し、7名が参加しました。今回、初参加の方はなんと伊達市から来ていただきました。盛り上げる人、整える人、最後にビンゴで楽しませる人等、難しくなく緩やかな交流が本当に楽しいひと時でした。

次回は、来年5月29日です。60期の皆様、是非ご参加お待ちしております。(60期卒・福)勤医協福祉会 太田 眞智子

65期&68期同期会報告



65期・68期同期会と称し、去る7月20日、きたえーるで新日本プロレス観戦会を開催しました。初

観戦の仲間もいましたが、迫力ある試合展開に大いに盛り上がり、観戦後の親睦会ではプロレスに経営論、人生論を重ね熱く語り合いました。

(65期卒・FRSコーポレーション(株) 間瀬 彩佳)

70期同期会報告



70期は恒例行事となりました、夏の情報交換会を8月29日に実施しました。コロナ禍でリアル参加できなかつた分、この機会にみなさんと意見交換できることは、しあわせなことです。

1月には卒業旅行で苦小牧に行きたいということになり、新年会は苦小牧開催となります。みなさんのご参加に感謝申し上げます☆

(70期卒・NPO法人ネクステージ 加藤 宏昭)

★「コム・チャン」企画

（会員企業へ訪問）

★「コム・ロード・チャンネル」の略で、コム・ロード同志、仲間をチャンネルに接続することを目的とした、期を超えた交流会の名称です。

去る、8月19

日に(株)ティービーパック様へ「企業訪問」させて頂きました。



北海道同友会代表理事で取締役会長の池川和人様より社内の人様、商品開発の経緯や就業環境などの取組みから福利厚生に至るまで、たっぷりとお話し頂きました。

参加者からは「意思決定が速い」「失敗を許容する企業文化」「2Sが行き届いた憧れの職場」などの感想がありました。

(68期卒 北海道印刷企画(株) 鈴木 星嗣)

第74期同友会大学

受講生募集のご案内

日程：2026年1月16日(金)

8月4日(火)

★講義時間／15時～18時の3時間。

会場…大久保記念・共育ホール 他

対象者…原則として25歳以上の会員

企業の社員

定員…40名(お早めに申込み下さい)

申込期限…2025年1月9日(金)

※詳細は同友会大学事務局までお問合せください。